

大竹市地域公共交通総合連携計画の修正箇所

(1) 本編

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
1	3	必ずしも市民 ニーズ と整合しているとは言えず、	必ずしも市民 生活の実態 と整合しているとは言えず、
	12	これら既存の ストック を十分有効に活用し、効率的かつ低コストで、多くの市民 ニーズ に見合った移動サービスが	これら既存の 資源 を十分有効に活用し、効率的かつ低コストで、多くの市民の 要望 に見合った移動サービスが
2	2	現在、 マイカー 等を利用して活動している市民でも、	現在、 自家用車 等を利用して活動している市民でも、
3	8 ～ 9	市民 ニーズ が高い施設が位置していますが、これらへ アクセス する公共交通が十分整っているとは言えません	市民の 利用が多い 施設が位置していますが、これらへ 連絡 する公共交通が十分整っているとは言えません
	17	日常生活において沿岸地域に アクセス する機会が非常に多いと考えられます	日常生活において沿岸地域を 訪れる 機会が非常に多いと考えられます
4	1	整備コンセプト	整備コンセプト (概念)
	4	沿岸地域の3拠点(大竹地区、小方地区、玖波地区)間の アクセス が向上する交通手段	沿岸地域の3拠点(大竹地区、小方地区、玖波地区)間の 連絡性 が向上する交通手段
	9	路線バス、タクシー、スクールバス等との連携・機能強化を図り、居住者が少ない地域にも対応できる システム の導入	路線バス、タクシー、スクールバス等との連携・機能強化を図り、居住者が少ない地域にも対応できる 仕組み の導入
	10	沿岸地域と内陸地域の アクセス が向上するような	沿岸地域と内陸地域の 連絡性 が向上するような
	11	図 公共交通の整備コンセプト	図 公共交通の整備コンセプト (概念)
5	4	路線バスのサービス レベル 改善等を推進する	路線バスのサービス 水準 改善等を推進する
7	10	②運行回数：34便(17往復)/日を予定	②運行回数：34便(17往復)/日 程度 を予定
	11	③運賃：有料。 具体的な金額は今後検討	③運賃：有料
	16	平成21年度～(秋頃 の運行開始を目指す)	平成21年度～(秋頃)

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
8	12	運賃は、 同乗人数により変化する体系の設定を 予定	有料
	16	平成 21 年度～ (秋頃 の運行開始を目指す)	平成 21 年度～ (秋頃)
9	8	平成 21 年度～ (秋頃 の再編を目指す)	平成 21 年度～ (秋頃)
10	8	既存車両についても ラッピングを行い 、デザインの統一を図る。	既存車両について、デザインを 検討して 、イメージの統一を図る。
	11	・デザインの検討、 ラッピングの実施	・デザインの検討
	12	②既存車両の ラッピング	②既存車両の デザインの改善
	13	デザインの検討、 ラッピングの実施	デザインの検討・改善
	15	大竹市地域公共交通活性化協議会	大竹市地域公共交通活性化協議会、 大竹市
	21	バス利用者が安心して 待た に待つことが出来る施設	バス利用者が安心して 待た に待つことが出来る施設
	30	大竹市地域公共交通活性化協議会	大竹市地域公共交通活性化協議会、 大竹市
11	3	バス路線や時刻表を掲載したチラシ等の ツ ム や広報誌等を活用	バス路線や時刻表を掲載したチラシ等の 広 報 媒体や市の広報誌等を活用
	4	またワークショップ、イベント開催等により	またワークショップ (※)、イベント開催等により (表の下に注意書きを追加) ※「ワークショップ」とは、参加者自らが参加・体験、また議論しながら、グループで学習や(計画等の)創造を行う手法のこと。
	8	広報 等 の ツ ム 作成	広報 媒体等 の作成
	12	・モビリティマネジメントや住民ワークショップの実施	・モビリティマネジメント (※) や住民ワークショップ (※) の実施 (表の下に注意書きを追加) ※「モビリティマネジメント」とは、過度に自動車に頼る状態から、公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと自発的な転換を促すコミュニケーションを中心とした取り組みのこと。

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
12	22 ～ 25	平成21年 2月 6日～18日 「大竹市地域公共交通総合連携計画（中間案）」のパブリックコメント実施 (予定)	平成21年 2月 6日～18日 「大竹市地域公共交通総合連携計画（中間案）」のパブリックコメント実施
		平成21年 2月 日 第5回大竹市地域公共交通活性化協議会開催 (予定)	平成21年 2月 25日 第5回大竹市地域公共交通活性化協議会開催

(2) 資料編 ～大竹市の現状と市民ニーズ～

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
4	5	・ ほぼ全ての団地が高台に立地している。	・ 高台に多くの団地が立地している。
9	—	—	「表 JR山陽本線の運行内容」を追加
10	—	—	「表 スクールバスの運行内容」を追加
11	—	—	「表 阿多田～小方航路（阿多田島汽船）の運航内容」を追加

(3) 資料編 ～大竹市コミュニティバス運行計画等～

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
2	14	また市役所などの拠点施設を回ることから、 アップデート された低床バスの導入	また市役所などの拠点施設を回ることから、 デザイン の美しい低床バスの導入
3	11 ～ 13	・ <u>30分ヘッド</u> で運行する。 ・ ただし利用ニーズが低いと考えられる昼間の時間帯は、60分ヘッドにするなど、利用実態に合ったダイヤとする。	・ <u>30分ヘッド（間隔）</u> で運行する。 ・ ただし利用者数が少ないと考えられる昼間の時間帯は、60分ヘッド（間隔）にするなど、利用実態に合ったダイヤとする。
	20	・ 市のイメージ向上に資するような低床バスの購入やラッピング、また利用促進につなげるため愛称（ネーミング）の募集等を念頭に置く。	・ 市のイメージ向上に資するような低床バスの購入やデザイン検討、また利用促進につなげるため愛称（ネーミング）の募集等を念頭に置く。
4	8	病院へのアクセスに活用できるルートを通ります	病院への訪問に活用できるルートを通ります

頁	行	修正前(パブリックコメントでの公開時点)	修正後
7	6 ～ 7	・ピーク時には30分間隔の運行を確保します。 (覚えやすいパターンダイヤを組みます)	・ピーク時には30分 ヘッド(間隔) の運行を確保します。(覚えやすいパターンダイヤ (※) を組みます) (表の下に注意書きを追加) ※「パターンダイヤ」とは、例えば「毎時10分」など、一定時間の間隔で出発するダイヤのこと。パターンダイヤが設定できれば、出発時刻を暗記しやすいため、バスの利便性が向上する。
9	4	低床バス購入や既存車両の ラッピング化 を行います。	低床バス購入や既存車両の デザイン 検討を行います。
	5	利用促進のため、 ラッピング化の時期に併せ、 市民公募等の手段等により愛称(ネーミング)も検討します	利用促進のため、市民公募等の手段等により愛称(ネーミング)も検討します
	7	図 ラッピング バスの例	図 デザイン化された バスの例
10	11	具体的な事業者は、協議会の公募により	具体的な事業者は、 市または 協議会の公募により
13	12	各地域の特徴や ニーズ に対応するとともに	各地域の特徴や 生活行動の実態 に対応するとともに
14	8	図 システム導入スキーム	図 システム導入の 流れ(スキーム)
15	4	定時/デマンド	定時/デマンド (予約型)
15	11	タクシー事業者と調整 する方法が良いと思いません。 また検討の際には、 導入検討を先進的に進めている地区の状況も参考になると思いません。	タクシー事業者と調整することになります。)

確認★
「市または」が必要でしょうか？